

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3972500528
法人名	医療法人若槻会
事業所名	グループホーム 希望の里
訪問調査日	平成20年10月23日
評価確定日	平成20年12月15日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3972500528		
法人名	医療法人若槻会		
事業所名	グループホーム 希望の里		
所在地 (電話番号)	高知県高岡郡越知町甲1725-1 (電話) 0889-26-1132		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年10月23日	生活感が	平成20年12月15日

【情報提供票より】(平成20年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年1月5日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤 7(内兼務1)人、非常勤 2人、常勤換算	5.7人

(2) 建物概要

建物形態	(併設) 単独	新築 / (改築)
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造り	
	3 階建ての	2 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,600 円	その他の経費(月額)	10,500 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	900 円	

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	2名	要介護2	1名		
要介護3	2名	要介護4	2名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 90歳	最低	84歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	若槻産婦人科クリニック、山崎外科・整形外科病院、清和病院、古味歯科診療所
---------	--------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

山間部の住宅街にある事業所は、穏やかでのんびりした環境の中にあり、利用者は平均年齢90歳という高齢にもかかわらず、お互いに生き生きと肩寄せ合って暮らしている。これは地域特性に加え、職員が明るく、また、ポジティブな高齢者感による取り組みにも現れているように、何事にも前向きに取り組んでいこうとするこの賜物であろう。また、平均年齢が高いにもかかわらず、利用者はそれぞれ役割を持ち、その役割を身体的に無理がない程度に行っており、これが利用者の生き甲斐にもつながっている。今後も、利用者が、役割を持ち、生き甲斐を持った暮らしを継続できるよう支援することを期待したい。

【重点項目への取り組み状況/取り組まれたこと】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>外部評価の結果を踏まえ、改善計画を立て、前向きに取り組んでいる。改善計画書の内容は具体性があり、実践可能なものとなっており、改善に向けて取り組んでいることは評価できるが、職員会での話し合い等の記録がなく、改善のプロセスが判りづらいので、サービスの質の確保、向上をどのように進めたかが確認できる記録を残すことを期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>新しく採用した職員には管理者から自己評価の意義や狙いを説明し、一人ひとりの職員がそれぞれの項目を記載し、管理者と介護支援専門員で取りまとめをしている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は今年から2カ月に1回開催しており、事業所からは行事や活動報告を行い、外部評価で明らかになった改善課題についても内容や改善に向けた取り組み方法等を説明している。参加メンバーからは質問や意見、要望等が出され、双方向的な会議となっている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族会は行事も兼ねて年3回、家族全員が集まり開催している。家族からの苦情はないが、家族会等で出された意見は、職員会で検討し、日々のサービスの向上に反映させるように努めている。家族への報告は些細なことでも欠かさないように心がけており、家族との信頼関係が構築されている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>山間部という地域特性を生かし、利用者一人ひとりが地域住民として認知されている。これは、地域に居住する職員のたゆまぬ情報発信や地域に根差した事業所となろうとする努力の賜物であろう。ホッとするようなどかな山あいにある事業所は、地域住民の一人として、安心して、その人らしく暮らすことができる環境を構築しており、地域の清掃や行事にも積極的に参加し、事業所そのものが、地域の中に違和感なく溶け込んでいる。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 地域に密着したサービスを行う施設として、新たに「地域とふれあいながら、生き活きた暮らしを支える」という内容を盛り込んだ理念を作っている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 理念について、職員会で話し、確認している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 利用者の人格を尊重した言葉かけや利用者のペースに合わせた支援など、理念を反映したサービスに努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 運営推進会議にかけ、平成21年1月から町内会に入会できるようになっている。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 町内の清掃、町内会の演芸会、小学校の運動会などに参加し、小学校の文化祭には利用者の作品を出品するなど、積極的に地域活動に参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 新しく採用した職員には管理者から自己評価の意義や狙いを説明し、一人ひとりの職員がそれぞれの項目を記載し、管理者と介護支援専門員で取りまとめをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 外部評価の結果を踏まえ、改善計画を立て、前向きに取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> その他 改善計画書の内容は具体性があり、実践可能なものとなっており、改善に向けて取り組んでいることは評価できるが、職員会での話し合い等の記録がなく、改善のプロセスが判りづらい。	○	サービスの質の確保、向上をどのように進めたかを確認できる記録を残すことにより、今後の運営の参考にすることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>運営推進会議では、事業所から行事や活動報告を行い、外部評価で明らかになった改善課題についても内容や改善に向けた取り組み方法等を説明している。参加メンバーからは質問や意見、要望等が出され、双方向的な会議となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>外部評価で明らかになった改善課題については内容を報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>地域包括センターの保健師との連携を密にし、利用者についての相談を行い、助言や指導も受けるなど交流を図っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p>家族来訪時には利用者の近況などを報告し、家族の近況も聴取している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。</p> <p>毎月ホームだよりを発行し、利用者の写真や担当者の直筆の近況報告を同封している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>毎月の請求時に、通帳の写し、買い物の内容、領収書を同封し、報告している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 年3回、行事を兼ねて家族会を開催している。開催日を日曜日にするなど、全員が参加できるように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 家族会等で意見や苦情が出た場合は、職員会で検討し対応するとともに、日々のサービスの向上に反映させるように努めている。家族への報告は些細なことでも欠かさないように心がけている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとつ馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 開設4年を迎えるが、退職者が4名と少なく、馴染みの職員が継続的に支えることができるよう努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 職員の異動はほとんど無いが、代わる時は複数の馴染みの職員がフォローや引き継ぎを十分行い、スムーズに移行できるよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 採用の形態には関係なく、職員の段階に応じて研修計画を立て周知し、参加できるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 報告書を提出し、職員会で伝達講習も行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 県グループホーム連絡会に加入し、研修にも参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 地域のケアマネ定期連絡会を通じて職員も含め交流を図り、職員のサービスや質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気や徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>本人や家族の状況把握はもちろん、病歴についても診断書を提出してもらうなど、その人らしく暮らすことができる情報の収集に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>本人や家族に、来訪して一緒にお茶を飲むなどの体験をもらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>管理者と介護支援専門員で面接を行っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>洗濯たたみ、畑作り、調理など、生活を一緒にしている者同士としてできることを分担し、協働して日常生活を送っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>共に暮らす者同士として、利用者の思いを推測し、寄り添うだけでなく理解することに努め、本人の思いを共感するようにしている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>利用者一人ひとりの思いや意向は、日常会話の中や家族から把握するようしており、アセスメントシートも変更して対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 利用者や家族から意向等を確認し、利用者の普段の言動からその思いを推測して、本人や家族の思いを反映した個別性があり、実践可能なプランとなっている。 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 月1回職員会を開催し、全職員で気づきや意見を出し合い、モニタリング、カンファレンスを行っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 短期3カ月、長期6カ月で見直している。 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 退院時等、状況に変化がある場合は必ず見直している。		
3. 機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続ができるように努めている。 母体法人が医療機関であり、医療処置を受けながら安心して暮らし続けることができる体制になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。 通院は職員が対応し、家族とともに墓参りにも行ったり、柔軟に支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 かかりつけ医の受診は基本的に家族が対応し、困難な時は職員が対応して受診できる支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 受診結果は確認・報告を行い、介護記録、業務日誌、連絡帳等に記録し、情報を共有している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>看取りの指針を作成し、同意書ももらっている。状況に応じて、本人や家族の意向を聞き、家族、医師、看護師を交えて話し合いを行うことにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>本人や家族の意向により、母体法人の医療機関及び職員が連携をとり、訪問医療を受け、点滴等の治療も行いながら、納得した最期が迎えられる体制となっている。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。</p> <p>排せつ介助の時は耳元で声掛けするなど、本人を傷つけないように配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p>個人記録が利用者や家族等の目に触れないよう、また、プライバシーに関する話を話さないよう徹底している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p> <p>事業所独自の業務マニュアルを作成し、日々のミーティングで話し合い、理解と徹底に努めている。</p>		
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。</p> <p>高齢だから無理だと決めつけず、利用者のしたいこと、できることを把握し工夫して、利用者間で共に支えあいながら、利用者に合わせて柔軟に支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 利用者一人ひとりの能力に応じて、食事の準備、盛り付け、後片づけなど、できることを一緒に進めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 利用者の希望により午後の時間を設定し入浴している。夜間はシャワー浴であれば希望に合わせて対応できる体制もとっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 入浴拒否がある時は時間をあけて声をかけ、どうしても拒否するような場合は清拭するなどして支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 自然にできた食事の準備、調理、金魚のえさやり等の役割を大切に、年齢を重ねても継続できるよう身体的な能力にも配慮しながら、それぞれの経験や知恵を発揮できる場面を作っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 常に声かけし、職員から働き掛けを行い、その中で役割、楽しみになることを見出すように努めている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 個別に家族とともにふるさと訪問や散策をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 平均年齢が90歳という高齢であるため外出を好まない利用者が多いが、事業所の周りを週2～3回散歩に出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 近隣の町まで買い物のためドライブに行ったりしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>居室や日中玄関に鍵をかけていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。</p> <p>現在一人で外出する利用者はいないが、一人で外出するような場合は、職員がそっと後ろから付いていき、安全に帰ることができるよう見守っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/><input type="checkbox"/>近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。</p> <p>近隣の住民の理解が得られており、外出しているのを見かけると事業所に連絡してもらえる関係が築かれている。</p>		
27	71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。</p> <p>前回の外部評価を受け、本年は10月29日に地域住民の協力を得て避難訓練を行うことになっている。</p> <p><input type="checkbox"/>避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常食料・備品を準備している。</p> <p>避難場所や避難路が全ての職員に周知されていない。</p>	○	災害時に利用者をスムーズに避難させるためにも避難場所、避難経路を周知することが望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>チェック表を作成し把握している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>利用者の希望を聞き、四季折々の食材も利用して、栄養士が献立を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>家庭的な雰囲気のある家具や季節感のある飾りや草花を配置し、喫煙コーナーも作るなど、それぞれの利用者が安心して、助け合いながら暮らすことができる空間になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>玄関前に畑を作り、プランターやベンチを置き、居間には季節感のある飾りを掛けるなど、季節感や五感の刺激に配慮している。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>利用者一人ひとりが、それぞれのなじみの家具や椅子などを持ち込み、その人らしい居室となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>一人ひとりの利用者の顔や生活が見えるような、個性的で清潔感のある居室づくりに努めている。</p>		